

第6回日本放射線事故・災害医学会プログラム

※演題名など実際の発表とは異なることがあります。

- 10:00 開会式
- 10:10 **基調講演** 座長：山口 芳裕（杏林大学）
「事故の経験と教訓を伝える」
明石 眞言（量子科学技術研究開発機構）
- 11:10 **特別講演-1** 座長：谷川 攻一（福島県立医科大学）
『原子力災害対策指針』及び『原子力災害拠点病院等の施設要件』の改正について」
田中 桜（原子力規制庁）
- 11:40 **特別講演-2** 座長：鈴木 元（国際医療福祉大学クリニック）
「1954年当時と2018年現在のビキニ事件
—保健物理学者の視点から—」
辻村 憲雄（日本原子力研究開発機構）
- 12:20 昼休み
（飲食場所は1階ラウンジ、または、3階会議室（301、302）をご利用ください）
- 13:00 総会
- 13:20 **シンポジウム** 座長：長谷川 有史（福島県立医科大学）
「大洗燃料研究棟被ばく事故の医療処置を考える」
・ 事故の概要、放射線管理上の対応
木内 伸幸（日本原子力研究開発機構）
・ 作業員の内部被ばく線量評価
栗原 治（量子科学技術研究開発機構）
・ 大洗プルトニウム内部被ばく事故の治療とその課題
富永 隆子（量子科学技術研究開発機構）
・ 事故対応の中で顕在化した課題
高田 千恵（日本原子力研究開発機構）
- 15:00 休憩・ポスター発表（1階ギャラリーにて）

15:30

パネルディスカッション

座長：前田 重信（福井県立病院）

高田 千恵（日本原子力研究開発機構）

「緊急時対応人材の育成・確保とネットワーク間の連携を考える」

【企画説明】

- ・「放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークとアンブレラ型統合プラットフォームの形成」事業について

神田 玲子（量子科学技術研究開発機構）

- ・緊急時放射線防護ネットワーク構築に向けた活動

百瀬 琢磨（日本原子力研究開発機構）

【パネリスト】

- ・原子力機構の指名専門家の役割と体制

外川 織彦（日本原子力研究開発機構）

- ・原子力施設緊急時の医療従事者派遣に向けて

立崎 英夫（量子科学技術研究開発機構）

- ・大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォームについて

松田 尚樹（長崎大学）

- ・健全な放射線防護実現のためのアイソトープ総合センターをベースとした放射線教育と安全管理ネットワークについて

渡部 浩司（東北大学）

- ・ネットワークの現状と人材育成・確保 福井県での取り組み

前田 重信（福井県立病院）

- ・事業者間ネットワークについて

金濱 秀昭（東京電力ホールディングス株式会社）

17:00 閉会式

17:30 懇親会（3階会議室（301、302）にて）

ポスター発表

- P-1 原子力災害拠点病院のモデル BCP 及び外部評価等に関する調査及び開発
○永田 高志（九州大学）
- P-2 ICRP 2007 年勧告に基づく内部被ばく線量評価コードの開発
○真辺 健太郎、高橋 史明、佐藤 薫（日本原子力研究開発機構）
- P-3 VARSKIN 6.0 を用いた皮膚汚染の表面密度—線量率換算係数の計算
○内田 真弘、星 勝也、山崎 巧、辻村 憲雄、高田 千恵（日本原子力研究開発機構）
- P-4 時空間ビッグデータを用いた放射性降下物変動の研究
○吉田 佳乃子、安田 仲宏（福井大学）
- P-5 核燃料サイクル施設での放射線管理経験と今後の課題
—日常管理・緊急被ばく医療への取り組み—
○高田 千恵、伊東 康久、百瀬 琢磨（日本原子力研究開発機構）
- P-6 大洗研究開発センター燃料研究棟 汚染・内部被ばく事故における肺モニタ解析結果に体表面汚染が及ぼした影響
○滝本 美咲、山崎 巧、高田 千恵、百瀬 琢磨（日本原子力研究開発機構）
- P-7 冷却 CCD カメラを用いた ARG 技術のフィールド適応性の高度化
○磯崎 航平、田村 健（日本原子力研究開発機構）